

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和6年2月9日

公表: 令和6年2月12日

事業所名 da・monde WEST

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	活動の内容により、机等を移動しスペースを確保	中高生が増える為、着替えスペースの確保を工夫していく。
	2	職員の配置数は適切である	6	0		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	5	手摺りの設置 パーテーションの足の保護 滑り止めテープ使用	建物の構造上全てにおいてバリアフリー化することは難しい。螺旋階段使用時など最大限注意を払っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	月ごとに担当業務を交代することですべての業務内容を把握し常に見直しできる体制にある	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	年1回実施	アンケート結果を受け、業務改善に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	オンライン研修や事業所内研修の実施	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	モニタリング、面談を重ね都度アセスメントを行なっている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	それぞれ分担しながら、支援員全員で考えている。	担当職員に任されている活動もある。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	季節の行事など取り入れ計画をしている。他拠点やた事業所の活動プログラムも参考に楽しい内容を取り入れるようにしている。	他拠点やた事業所の活動プログラムも参考に楽しい内容を取り入れるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1	休日、長期休暇には調理活動や外出活動等を取り入れている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1	毎日事前ミーティングを行っている。	非常勤職員との情報交換が難しいところもあるので、ホワイトボードを使用していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	当日できなかった場合は翌日に行っている。	時間がある時のみ行っている。パート職員との情報交換が難しいところもあるので、ホワイトボードを使用していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6	0			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	メールや書面で行なっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1	服薬は、保護者からの依頼を受けておこなっている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2	相談支援事業所や保護者より間接的に情報を得ることができている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	0		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	協議会で担当の方との交流が持てた。	今後に活かした関わりをしていければと思う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	他事業所との交流の機会は設けている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2	今年度は、定例会や活動の見学会へも参加することが出来た。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	情報発信ツールや送迎時などで伝えあっている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約時に行なっている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	2	保護者会を1回開催することができた。	保護者同士の連携までに至らず、参加できない保護者もあった。より多くの方に参加していただけるよう、開催日時を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	月1回のブログの更新、活動予定の配布。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	0		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	存在を把握していなかった	全職員に周知できるよう、繰り返し情報発信していく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	定期的に活動に取り入れている。	いろいろな状況を想定した訓練を実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	法人や外部オンラインなど研修に参加している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	作成後は、回覧し、情報共有している。	